

12月1日(金) 開場12:30

開 会 趣旨説明 徳納 剛
(コンクリートメンテナンス協会 会長) 13:00~13:05

第1部 江良 和徳氏
(コンクリートメンテナンス協会 技術委員長) 13:05~14:00

「コンクリート構造物の健康寿命を延ばすための維持管理の考え方」

休 憩 14:00~14:10

第2部 江良 和徳氏
(コンクリートメンテナンス協会 技術委員長) 14:10~15:00

「コンクリート構造物の健康寿命を延ばすための亜硝酸リチウムの活用」

第3部 田村 悟士氏
(アイゾールテクニカ 専務取締役 技術統括) 15:00~15:30

「小規模橋梁に対する床版防水工の動向と開発事例」

休 憩 15:30~15:40

第4部 (1) 大塚刷毛製造 15:40~17:00

「インフラ整備の現状と問題」

第4部 (2) 小寺 健史氏 (プラスト施工技術協会 会長)

「インフラメンテナンスにおける鋼橋の課題素地調整の重要性」

第4部 (3) 吉原 慎二氏 (吉原鉄工所 代表取締役)

「素地調整程度1種【マルチメディア・ブラスト工法®】に付いてのご紹介」

※講演者、講演題目は11月1日現在のものであり、変更される場合があります。ご了承ください。

参加申込 参加費/無料 <https://www.j-cma.jp/>

■申込先/(一社)コンクリートメンテナンス協会のホームページより該当のフォーラム会場へお申込下さい。

※定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。



えら かずのり
江良 和徳氏

所属学会/土木学会、日本材料学会、日本コンクリート工学会、プレストレストコンクリート工学会
備 考/平成18年度より京都大学大学院の宮川豊章教授ご指導の下でリチウムイオン内部圧入工をテーマとした研究を行い、平成22年3月に博士(工学)の学位を取得
賞 /平成21年度 日本材料学会 論文賞
平成22年度 日本材料学会 技術賞

所 属/コンクリートメンテナンス協会 技術委員長
業務内容/コンクリート構造物の調査、診断、補修、補強業務 亜硝酸リチウム関連技術に関する研究開発
資 格/博士(工学)、技術士(総合技術監理部門、建設部門) コンクリート診断士、コンクリート構造診断士、1級土木施工管理技士、プレストレストコンクリート技士、コンクリート技士、保育士、ほか



たむら さとし
田村 悟士氏

主な経歴/●(一社)資源・素材学会 論文集「建設原材料」編集幹事
●関西道路研究会 道路橋調査研究委員会 橋梁の余寿命の推定および評価手法に関する調査研究小委員会 幹事
●近畿大学理工学部 非常勤講師

所 属/㈱アイゾールテクニカ 専務取締役 技術統括
業務内容/環境負荷の少ない次世代型コンクリート補修材料の開発、インフラ構造物の補修工事に対する技術コンサルティング、各種講演
資 格/博士(工学)
所属学会/(公社)土木学会、(公社)日本コンクリート工学会、(一社)資源・素材学会
著 書/「サステナブル社会基盤構造物」(森北出版・共著)



こてら たけし
小寺 健史氏

と対策、共同執筆(公益財団法人土木学会)、2022年同志と一緒に「(一社)PCB処理工法協議会」を発足、2023年同志と一緒に「(一社)AI(アイ)ラップ工法協会」を発足

所属/(一社)プラスト施工技術研究会
経歴/1976年大阪府松原市にて生まれる(実家はプラストや溶射を営む家庭)、1995年高校3年生の時に、阪神大震災が起こる、1998年ようやく学校を卒業し、家業に入る、2010年兄と共同で家業を継ぐ、2014年同志と一緒に「プラスト施工技術研究会」を発足、2015年同志と一緒に「塗膜剥離・素地調整勉強会」を発足、2018年防食ソリューション共同執筆者(橋梁通信社)、2019年大気環境における鋼構造物の防食性能回復の課題



よしはら しんじ
吉原 慎二氏

を設計・製造する、2015年プラスト施工技術研究会 発足し、理事として活動を始める

所属/㈱吉原鉄工所 代表取締役
プラスト施工技術研究会理事
所属学会/プラスト施工技術研究会
経 歴/1992年広島修道大学卒業、1993年長沼商事(株)入社、1995年㈱吉原鉄工所入社、
※(株)吉原鉄工所は、設立(1968年)当初より、プラスト機的设计・製造を始める。
2004年代表取締役社長就任、2013年橋梁補修工事向けの、プラスト装置